



今みなさんの多くが、地域の将来に不安を感じておられるようです。戦後63年の平安の中で平和を使い果たし、生活が豊かになり、あまりにも簡単に幸福になりすぎたために、気がついたら地域や人々のつながりが薄らいだように思います。そして今、国が、地域がいろんな問題に直面しています。いずれにしても私たちはこの危機を乗り越えなければなりません。そのためには、人と人、地域と地域の「絆(きずな)」を大切に、吉野がひとつになって以前の元気な吉野にしていかなければならないと思います。

寒い日が続いていますが、風邪などひかないように気をつけてください。

シリーズ吉野を考える(第六回)

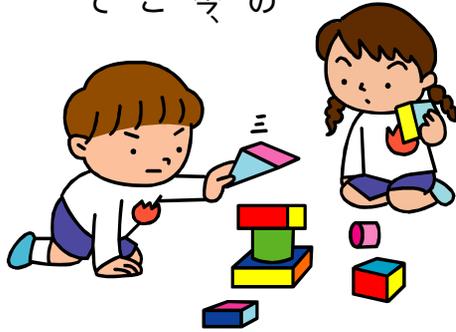
今、一つになつて考えるよつこ

一番大事なものは？と聞かれたらどう答えますか？

「命」と答える人は多いでしょう。それは誰の命ですか？自分の命、子供の命、孫の命。はたして自分の子供の命だけが大切なのでしょうか？

極端な話、世界に自分の子供しかいなくなつたら生きていけるのでしょうか。私達は周りの環境によつて生かされているといつても過言ではありません。

この大事なものを守るために今、私達ができることは何か考えてみませんか。



シリーズ1回目の限界集落の話では、55歳以上の人口比率が50%を超える限界集落が吉野町では、36地区中28地区もあり、集落の自治、生活道路・水路の管理、冠婚葬祭など、共同体が衰える限界集落まで残された時間はそ

んなに多くないことを紹介しました。

2回目では、そうした超高齢化を迎える高齢者に目を向け、意

欲と経験のある高齢者を就労可能する環境づくりと、お年寄りが長年にわたつて積み重ねてきた知識・経験・技能が十分に活かされるボランティア活動に積極的に関わることができると社会的構築を考えました。



3回目は、それらを支える財政が厳しくなつてきている吉野町を強化する一つの方法としての、市町村合併協議はなんだつたのかと問いかけ、大勢に流されることなく行政サービスのあり方、住民と行政の関係について見直すことの大切さを感じました。

4回目では、安全と安心に目をむけ、子供が犯罪や事故に巻き込

まれないためにも、地域の大人たちがあいさつ声かけをし、子ども達を見守る必要性と、いつ起こるか分からない災害に備え、地元住民だけではなく観光行楽客にも分かりやすい避難場所の表示看板の設置や、さらには隣近所の小さなコミュニティを大切に、地域内でお互いを助け合う町づくりの推進を提案しました。

5回目では、収入が伸びなやみ公共料金の負担が大きいのし掛かる社会の中で弱者ともいえる子どもとお年寄りの話で、子どもの医療費の無料化や、学童保育の早期実現、安心して老後が暮らせるよう負担が少しでも軽くなるような介護施設の必要性やもつと便利な福祉バスの見直しを訴えました。

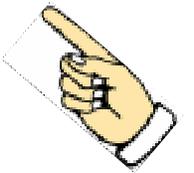


他にも、まだまだ吉野町ではやらなければならないことは、山積みです。これらのことを実現していくためには、今、私達一人ひとりが何ができるのか、何をやっていかなければならないか考えていかなければなりません。明日の吉野町のために、皆が「心ひとつ」に頑張っていきましょう。



ちよつと教えて、「いつへいちゃん

お答えします！お調べします！



問 少し前になりますが、こんやくゼリーが、のどに詰まるというこ
とで販売中止になったニュースを見
ました。

正月には、おもちを食べたお年寄
りが、のどにもちを詰まらせて、大
騒ぎになったという話をよく聞きま
す。

うちにも、八十過ぎの父がいます
が、もしこのように
なつたらと、不安
に思っています。
何かよい対処法は
ないのでしょうか。

(43歳・主婦)



答 おもちは粘りが強く、大きなか
たまりのまま飲み込むと、気道の入
り口につまりやすく吐き出す力が弱
い高齢者にとっては、注意が必要で
す。まずは、のどにつまらないよ
う、小さくきって食べたり、のどを
湿らせてから食べるなど家族の方々
の注意が必要です。

もし、のどに詰まった場合は、家
族や隣人などに応援を頼み、できる
だけ早く119番に連絡して救急車
を要請してください。

救急車が到着するまでの間、もし
口をのぞいておもちが見えたら、指
にガーゼなどを巻き、円を描くよう
にして、奥に押し込まないように注
意してふき取る。また、もちが見え
ない場合は、うつむかせて、両肩の
肩甲骨の間を平手で力強く数回たた
く。口の中を確認してもちが見え
たら指でとる。

そのほか掃除機の吸い込み口に細
いノズルをつけ、吸引する方法もあ
りますが、肺への影響など有害な面
がないとは言い切れませんのでお勧
めはできません。

事故のないよう注意をはらいなが
ら、楽しい正月を過ごせればよいで
すね。



ご声援ありがとうございます。



「元気な吉野」も今回で第12号の発行となりました。
これまでに、多くの方々からご声援を頂戴いたしました。
これからも、元気な吉野に向けて精一杯努力して行きますので、引
き続きご支援頂きますようよろしくお願い致します。

「元気な吉野」を拝読させても
らつている者です。
西沢さんが『シリーズ吉野を考
える』に連載されている内容を是非、私たちの目線に立ち町政に反
映できるよう、議会で北岡町長と
共に活躍されることを期待してい
ます。

西沢さんは信念を持って行動で
きる人です。そういう人が吉野町
には必要だと思います。

これからも、明日の吉野のため
に頑張ってください。

今まで何度か新聞と一緒に配ら
れてきた「元気な吉野」を読みま
した。いま私たちが直面している
過疎化や少子高齢化社会などの問
題について、現状や対策が書かれ
ていました。しっかりと現実を見
つめて、みんなの将来のことを考
えてくれているように感じまし
た。これからもがんばってください
い。

なにか行動を起こそうとすると
必ず批判を受けます。でも、それ
に屈指ないでがんばってください
い。

「元気な吉野」を読みました。
吉野町に対して、どれだけ真剣に
取り組んでいるかよくわかりまし
待っています。

西沢さんには、ほかの人には無
い魅力を感じます。だからこそ期
待しています。